



2019年2月22日
SGEC/PEFC ジャパン
We love forest 事務局

第2回「はっくしょんフェイス選手権」を開催 ～花粉を止めたい！投稿は止めるな！森と共存しよう大作戦～

国際的な森林認証制度・PEFC と相互承認を行っている日本の認証制度・SGEC を管理する一般社団法人「緑の循環認証会議」(以下、「SGEC/PEFC ジャパン」)は、“森と人間の共存”をキャッチフレーズに普及・啓発活動を行っています。

具体的な事例として、スギ花粉の少ない世界を目指し、全国の SGEC/PEFC 認証林における「少花粉スギ」の苗木の植栽活動を推進しており、また、この活動を拡大するため、昨年には全国のスギが力を蓄えた猛暑の期間に「第1回 はっくしょんフェイス選手権」を開催したところ、1,000 作品を超える応募、16 万人の Instagram(インスタグラム)ページのフォロワー、総閲覧数 229 万を記録と、大きな反響がございました。

そこで、全国的に昨年に比べて2～9倍の花粉飛散が予想される地域も見込まれるこの春、2月22日(金)～3月21日(木・祝)の1か月間をかけて「第2回 はっくしょんフェイス選手権」を開催することといたしました。



現在、日本のスギ林は、この 70 年間で初めて、本格的な伐採期を迎えています。同時に、伐採後の森林には次に何を植えていくべきかという課題を抱えることになりました。ここで、森林管理者・森林組合など全国の森林オーナーさんたちに「少花粉スギ」の苗木を植えていただくことができれば、数十年後の日本は、今より花粉症で悩まされる方々は少なくなるはずです。

しかしながら、森林管理者・森林組合など全国の森林オーナーさんたちの大半は、いまだ、そういったご判断に至っていない方も多いのが現状です。

そこで、花粉症に悩む皆さんの熱く切実な思いが必要です。その皆さんの熱く切実な思いを Instagram および Twitter(ツイッター)でお寄せいただきたいと思います。

私たち SGEC/PEFC ジャパンが、投稿数とその反響を、責任をもって森林管理者・森林組合など全国の森林オーナーに直接お届けし、それによって、スギ伐採後の全国の森林に「少花粉スギ」の苗木を植えていただけるよう強かに推進してまいります。

記

■『花粉症』は身近で切実な問題

今、『花粉症』は日本だけでなく世界的にも社会的に大きな問題となっています。花粉症の主な発生源は、北米ではキク科の植物、西欧ではイネ科の植物、日本ではスギとされており、これらは「世界 3 大花粉症」として知られています。現在、日本において花粉症は国民の 3 割を悩ましていると言われており、その対策が急がれています。



現在、「少花粉スギ」の植栽は、国・地方公共団体の指導・支援に基づき行われています。林野庁は、「少花粉スギ」について、品種開発に取り組んできており、2016 年には 533 万本が生産できる体制が整備されました。しかし、現在の生産量は、スギ苗木全体の生産量の 3 割に留まっており、同庁は 2032 年までに 7 割まで引き上げる目標を掲げています。



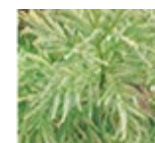
➤ 「少花粉スギ」とは

日本における一般的なスギ育種苗木(品種)は、地域の気象条件、土壌条件に適合し、良好で、かつ健全に育成している森林から最も優れた樹木(精英樹)を選抜し、これらの交配、もしくはこれらから採取した穂木から育成(精英樹選抜育種)したものです。「少花粉スギ」の育種苗木(品種)の開発についても同様に、このような育種技術により選抜された精英樹の中から、さらに花粉の着生量の少ない個体を選抜して行われているもので、遺伝子組み換えや薬剤処理等の措置は何ら加えられていません。

このように、「少花粉スギ」の育種苗木は、通常の樹木の生理生態に基づき育成されたもので、スギ本来の日本の郷土(自生)樹種としての特性は、失われていません。



一般的なスギの枝先



少花粉スギ(天竜 4 号)

SNS による「第 2 回はっくしょんフェイス選手権」の概要

全国のスギ林は、去年の記録的な猛暑で、せっせと花粉づくりに邁進しました。そして 2019 年春。今年の春は、これまた例年になく、花粉が猛烈に飛散することになりそう！

この日本から花粉症をなくしていくためには、全国の森林に、花粉が少ない「少花粉スギ」を植えていくことが効き目があるのですが・・・森林管理者・森林組合など多くの森林オーナーさんたちは、正直、まだそこまで、というのがホントのところなんです。私たち SGEC/PEFC メンバも頑張っているのですが・・・

そこで、花粉症に苦しむ皆さん、助けてください！

皆さんの、花粉症に対するうんざりするユーウツな想いを、いろいろな表現で、SNS の投稿に乗せて、いっぱいお寄せください。お寄せいただいたあなたのユーウツを、私たちが全国の森林オーナーさんたちに直接届けます。

皆さんの声があれば、自分の森に何を植えようかと悩んでいる森林オーナーさんたちの心も動かすことができると思います。そして 100 年後には、きっと、花粉症に悩まされることのない、森と共生する世界が実現するはずです。

このキャンペーンでは、あなたが花粉症に苦しめられている姿、花粉症と戦っている風景、花粉症と共存している話、なんでも OK。動画や写真で応募してください。

Instagram や Twitter にて、ユーザー名『Weloveforest』をフォローの上、キャンペーンでの指定 # (ハッシュタグ) をつけて、SNS に投稿いただきます。参加できるのは、男性でも女性でも、お一人様でも、友だちとでも、ご家族でも、お子さんとでも、おじいちゃんおばあちゃんとも、ワンちゃんネコちゃんとも、2 次元でも、2.5 次元でも、何でも OK! 未公開であれば、撮影時期も問いません。とにかく、あなたの花粉症へのユーウツな思い、なんとしても花粉症に悩まされたくないという思いをこめて投稿してください。

キャンペーンは、2 月 22 日(金)からの 1 か月、皆さんの「いいね！」数と、キャンペーン事務局による総合的な審査により、4 月中旬に「ベスト・ハクシヨニスト(大賞)」の 1 名を発表します！「ベスト・ハクシヨニスト(大賞)」には、6 月以降秋頃までの期間で、北米・西海岸の大自然に囲まれた壮大な自然をご堪能いただける、東京-シアトルの往復航空券を進呈いたします (サポーター：ウェアハウザー)

あなたの力で私たちと花粉症に苦しむことのない森林との共生環境をつくっていきましょう！

■利用規約等詳細は、こちらのサイトでご確認ください。→ <https://welove-forest.jp/>

■また、このキャンペーンは、皆さまからの投稿だけではなく、さらに盛り上げていく活動として、主旨や取り組みに共感いただける企業や団体の皆さま＝サポーター＝を募集いたしております。

サポーターのページはこちら→ <https://welove-forest.jp/supporters.html>

■「第1回はっくしょん選手権」の受賞一覧

・ベスト・ハクショニスト大賞（動画）



受賞者 @ hanakitasho さん

(受賞ポイント) はっ、はっ、、、、はっくしょーん！と素晴らしいはっくしょんフェイスを披露してくれたハナちゃんに審査員一同心を奪われました。くしゃみが出るまでの表情、豪快なくしゃみ音、くしゃみが出た後の一仕事を終えた顔、すべての仕草がベスト・ハクショニストに相応しいです。

(賞品) スイス＝ジュネーブ 往復航空券

・ペット賞（動画）



受賞者 @ greengreen.ramuqoo さん

(受賞ポイント) 花粉症に悩む飼い主様のくしゃみモノマネのクオリティに、審査員一同驚きました。また、この企画をしっかりとご理解いただき、ご参加いただけただことも大きな決め手です。

(賞品) 加湿空気清浄機

・キッズ賞（静止画）



受賞者 @ melodea126 さん

(受賞ポイント) 家族で満開の桜を見に行かれた際のお写真を投稿いただきました。くしゃみの瞬間を写真に収めるのは難しいのですが、臨場感あふれるくしゃみの様子が伝わる作品です。背景の桜、赤ちゃんの表情、お父さんの表情、すべてのバランスの良さからキッズ賞に選ばせていただきました。

(賞品) ティッシュー1年分(50箱)

・審査員特別賞（動画）



受賞者 @ rinatag_817_funf さん

(受賞ポイント) おじいちゃんが大好きなお孫さんからの投稿です。おじいちゃんのはっくしょんフェイスと、特徴的なはっくしょんサウンド。審査員一同を笑顔にする心温まる作品です。

(賞品) 少花粉スギの苗木

■森林認証 PEFCとは



PEFCは、汎欧州森林認証制度として1999年に創設されましたが、その後、2003年に、世界各国の認証制度を相互承認する制度に改組されました。現在、PEFCは、スイス・ジュネーブに本部を置く世界最大の認証森林を擁する森林認証制度で、厳格な第三者認証を通じて持続可能な森林管理の促進を目指す、独立したNGO組織です。世界で49か国が加盟し、43か国の認証制度と相互承認を行って

ります。日本のSGECは2003年に国内認証制度として創設されましたが、その後、2016年に相互承認が認められ、現在「SGEC/PEFC ジャパン」として活動しています。

森林認証制度は、現在の世界の潮流となっている2015年9月に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)と親和性が高く、その目標の達成に貢献する制度として高く評価されております。また、企業のCSR活動のベースとしても採用が進みつつあります。

2020年の東京五輪・パラリンピックでも、使用する木材や紙は森林認証を取得した製品など、持続可能性に配慮することとなっており、新国立競技場の建築には47都道府県からの森林認証材が使われる予定です。

以上

—本件に関するお問い合わせ先—

SGEC/PEFC ジャパン 参 与 高 原 繁 電話(代表):03-6273-3358 E-mail:takahara@sgec-pefc.jp

国際部長 堀尾牧子

E-mail:makiko.horio@sgec-pefc.jp

—「はっくしょんフェイス選手権」に関するお問い合わせ先—

We love forest 事務局(make.内) 電話:03-4400-6946 E-mail: info@welove-forest.jp